



## イヌの鼻はどうしていいの

### 人間の100万倍もの嗅覚

イヌは、目があまりよくないかわりに、鼻や耳がいいのです。生き物は、物を見分けるのに、見る(視覚)、聞く(聴覚)、においをかぐ(嗅覚)、さわる(触覚)、味をみる(味覚)、などの五感とよばれるものを、はたらかせています。

生き物の種類によって、これらの五感のはたらきが、それぞれちがっています。人は、見るはたらきはすぐれています。野生の動物と比べると、嗅覚や聴覚はにぶいといえます。

イヌは、目は近眼で、色も、人間ほどはっきり区別が付きません。その分をおぎなうように、人間の100万倍ものすごい嗅覚をもっています。においをとらえるのは、鼻のおくにある嗅上皮という膜で、ここにある感覚細胞の数を比べると、イヌは人間よりはるかに多いのです。イヌの鼻先がいつもぬれているのも、においをびん感にとらえるためです。

### けいさつ犬や、ま薬犬が大活躍

現在、わかっているかぎりでは、イヌがいちばん嗅覚がすぐれた動物といわれています。

その鼻のよさをいかして、けいさつ犬は、事件のあと、はんに残したわずかなにおいをたよりに、とんでもない所にかくれていたはんに人を、見つけだしたりすることができます。また、ま薬調査犬は、外国からこっそり荷物にかくして、持ちこもうとするま薬を、においで発見します。ま薬は、日本に持ちこむことを禁止されているのです。

(監修・今泉 忠明)

